

豊 か さ

近江路の農作業は、五月の連休に活況を呈する。しろかきをする耕運機や田植え機のエンジンの音が、広い耕地にこだましてくるさまは、まことに好ましい。鯉幟りと苗床の緑もよく調和して、あくまでも農村の姿は明るい。

想えば、日本の農業の歴史の中には悲惨な飢饉が刻まれている。冷害によって、元禄・宝暦・天明・天保の飢饉はもたらせられ、また享保の飢饉は、西日本で“餓死するもの九十六万九千五百人とぞ聞く”（徳川実紀による）との惨状であり、ウンカの大発生によるものとされている。飢饉による影響は、それぞれの社会の荒廃をまねき、ながくその傷あとが残されたという。

しかし現時点では、農業の技術革新も著しく進み、幸いにも天災も遠くあり、過剰米の処置が、重大な政治問題となって、飢饉については考える余地もないかのようにであるが、今もなお、慢性的に飢饉に悩む国々が存在し、将来の世界の人口の増大や、忘れられている自然がもたらす災害の大きな力を考えるとき、目先の施策に追われたり、人間の技術力を過大に評価してよいものかどうかと疑問をもつ。

そしてなににもまして、物質的な豊かさに溺れて、心の豊かさを忘れられている社会の歪みに空虚さを感じる。農業に従事する人々が、生産する喜びを、すなおに表現できる秋をむかえられる環境をつくることが、精神的にも物質的にも、真の社会の豊かさをもたらすことだと思う。

〔財団法人日本植物調節剤研究協会理事 上井忠太郎〕
三共株式会社常務取締役

目 次 (第14巻第4号)

熱帯・亜熱帯地域の野菜栽培と雑草防除	2
＜技術士・農学博士 篠原捨喜＞	
1. 総 説	2
2. エジプトの国情と園芸	3
3. ヨルダンの園芸	5
4. 東南アジア諸国の野菜園芸	8
5. バングラデシの野菜園芸	12
テンサイ畑の雑草防除	14
＜北海道農試 堅木育雄・花井雄次＞	
1. テンサイ畑の雑草と管理の概況	14
2. テンサイの雑草害	15
3. テンサイ畑の雑草防除	17
4. 雑草防除の今後の問題	21
外国文献抄録	
淡水魚におけるトリフルラリンの蓄積と残留	22
新登録除草剤一覧	24
＜農林水産省農蚕園芸局植物防疫課＞	

表紙の写真は、ケフシグロの種子表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影したもの、星状突起型、550倍。

〔写真提供者：笠原安夫氏〕